令和４年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和　５年　３月　３１日
学）金沢学園　新庄ベビーホーム

１、　本園の保育目標

・健康で明るく素直な子ども　　・思いやり、勇気、感動を共有できる子ども
・自分の気持ちを表現できる子ども　　・約束を守りみんな楽しく遊へる子ども

２、　本年度重点的に取り組む目標・計画

・個々の乳幼児を大切にし、安全な保育を心掛け、保育の質を高める。

３、　評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	B	コロナ禍密にならないように、遊び・食事・おやつ・午睡などに配慮し、定期的に話し合いねらいや内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	A	コロナ禍、PDCA を繰り返し、その結果、遊びが充実し、保育の質の向上が見られた。危機管理への共通理解を図る。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	B	民間立保育協議会の立ち上げで、研修を充実させたり、特別支援ｺｰﾃﾞﾈｰﾀｰも配置し、家庭や関係機関との連携を図った。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

４、　総合的な評価結果

評価	
B	改築工事と合同保育の年、評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切にした、安全な保育を実践する事ができた。また、コロナ禍さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になった。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

５、　今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	改築に向けて、計画案と実施内容を検討し、健在の問題点と新たな園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
2	安全管理	新園舎も含めて、現在の問題点を整理し、緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。水害危機管理もマニュアル導入
3	幼保接続	小規模の特性を生かし、保育士や幼稚園教諭と共に学ぶ機会を持ち、「乳幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して保育の共通理解に努める。又、連携と接続の研鑽に励む。

６、学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のＡと同様にほぼ評価が高かった。

１．安全に一年間保育ができたこと、保育環境の改善も多少行った。改築中の合同保育や新園舎に配慮する。
２．環境的にも次年度からの新園舎有効活用し、保育の質を高めてく配慮に高い評価を得た。
３．総合評価に準じて、おおむね日常課題にも積極的に取り組み委員の評価が高かった。